

令和５年度 事業報告書

「生活衛生関係営業の運営の適正化及び振興に関する法律」に基づき、生活衛生関係営業の経営の健全化を通じてその衛生水準の維持向上を図り、併せて利用者又は消費者の利益の擁護を図ることを目的として、次の事業を実施した。

１．会議開催等事業

理事会等開催 [定款第５章、７章]

年月日	開催場所	種別	議案事項等
5. 5. 15	センター事務所	監査	令和４年度会計監査
5. 6. 5	ANAクラウンプラザホテル神戸	理事会	令和４年度事業報告・決算報告、理事長・副理事長及び常務理事の自己職務状況報告、定例評議員会招集、理事任期満了次期選任候補者推薦、監事一部改選候補者推薦
5. 6. 27	兵庫県中央労働センター	評議員会	議長選出、令和４年度事業報告・決算報告、任期満了に伴う理事選任、一部改選に伴う監事選任、令和５年度事業計画・収支予算報告
6. 3. 5	兵庫県中央労働センター	理事会	令和６年度事業計画・予算、資金調達及び設備投資の見込み、理事長・副理事長及び常務理事の自己職務状況報告、「就業規程」・「職員の定年及びその運用について」の改正及び「電子取引データの訂正及び削除の防止に関する事務処理規程」の制定

２．関係行政機関・関係団体等連絡調整事業

(1) 関係行政機関並びに関係団体等との連絡調整を図った。[定款第４条７号]

新型コロナウイルス感染症拡大防止等により、リモート(W e b)での参加となった会議等もあった。

- ・都道府県センター事務局代表者会議（令和５年４月２１日）
- ・第１回経営指導員研修会（ZOOM:令和５年４月２６日）
- ・第２回経営指導員研修会（ZOOM:令和５年５月１９日）
- ・第３回経営指導員研修会（ZOOM:令和５年５月２４日）
- ・近畿ブロック指導センター会議（ほてる I S A G O 神戸:令和５年１１月３０日～１２月１日）
- ・都道府県センター事務担当者会議（ZOOM:令和５年１１月１７日）
- ・都道府県センター経営指導員研修会（全国生衛会館他:令和６年２月１６日）
- ・都道府県センター理事長会議（令和６年３月１５日）

(2) 生活衛生関係営業に係る情報の収集につとめ、資料の提供を行った。[定款第４条５号]

３．相談指導事業

生衛業の衛生水準の維持向上、経営の安定を図ることにより、消費者の利益擁護を推進することを目的として相談指導の実施体制を充実するとともに、日本公庫と連携して貸付制度の効果的な活用を促進した。

(1) 中央相談指導事業

① 生活衛生営業相談室設置要綱に基づき相談室を設置し、融資、税務等の窓口相談並びに指導を行った。〔定款第4条1号〕【公1】

対象業種	指 導 件 数 (件数)							合計
	融資	経理	税務	労務	衛生	経営	その他	
理 容	12		5	5	5	49	26	102
クリーニング	2		1			56	29	88
美 容	68	1	31	31	32	79	56	298
旅 館	13		3	3	5	24	13	61
浴 場	13	1	3	4	11	55	31	118
興 行	4		4	2	4	11	6	31
鮎 商	10		1	1	2	60	29	103
社 交	5		1	1	2	34	19	62
麺 類	17		8	8	9	61	36	139
食 肉	6		2	2	3	29	16	58
喫 茶	3		1	1	1	19	10	35
料 理	2		2	2	2	16	9	33
飲 食	124	2	40	40	53	122	94	475
食鳥肉	1					14	8	23
中 華	12		2	3	5	33	19	74
氷 雪						4	3	7
合 計	292	4	104	103	134	666	404	1,707

*利用者・消費者の苦情等処理に対する指導を行った。〔定款第4条2号〕

指導件数 6件 (美容)

② 相談指導顧問設置事業〔定款第4条1号〕【公1】

相談指導顧問設置要綱に基づき相談指導業務の充実強化を図るため専門的知識を有する者を相談指導顧問として配置し、原則として月1回の無料法律相談を実施した。(神戸市1回)

相談件数 1件 (飲食業)

(2) 地区相談指導事業〔定款第4条1号〕【公1】

地区生活衛生営業相談指導事業実施要綱に基づき地域の実情に応じた相談指導を行うため、地区生活衛生営業相談室を開設した。

実施日 令和6年3月1日 場 所 日本政策金融公庫豊岡支店会議室

対象業種	相 談 件 数 (件数)							合計
	融資	経理	税務	労務	衛生	経営	その他	
美 容		1			1	1	1	4
興 行	1	1		1	1	1	1	6
麺 類		1	1			1	1	4
飲 食	1	1			1	1	1	5
合 計	2	4	1	1	3	4	4	19

(3) 巡回相談指導事業〔定款第4条1号〕【公1】

営業所等を巡回し、経営指導員による相談指導を実施した。

対象業種	指 導 件 数 (件数)							合計
	融資	経理	税務	労務	衛生	経営	その他	
理 容								
クリーニング	4			4	4	4	4	20
美 容	4			4	4	4	4	20
旅 館								
浴 場	11	5	1	16	16	17	17	83
興 行	6		2	4	6	6	6	30
鮎 商	7			7	7	7	7	35
社 交	2			2	2	3	3	12
麵 類	7			7	7	7	7	35
食 肉								
喫 茶	9			8	11	12	12	52
料 理	2			2	2	2	2	10
飲 食	9			9	9	9	9	45
食 鳥 肉	4			4	4	4	4	20
中 華	5			5	5	5	5	25
氷 雪				3	4	5	5	17
合 計	70	5	3	75	81	85	85	404

(4) 生活衛生関係営業経営改善資金融資等指導事業【公1・他1】

- ① 生活衛生関係営業経営改善資金融資制度に基づき生活衛生関係営業の経営の健全化を促進するため、相談指導を行うと共に関係機関との連携強化を図った。〔定款第4条1号、7号〕

融資申込・相談件数 17件 (社交飲食業 1件、飲食業16件)

- ② 生活衛生営業経営特別相談員の新任養成に必要な講習会を開催した。〔定款第4条1号、4号〕

年月日	開 催 場 所	出席人員	内 容
6. 2. 9	兵庫県中央労働センター (神戸市中央区)	7人	「特別相談員の役割について」 兵庫県生活衛生営業指導センター 常務理事兼事務局長 都倉敏明 「生活衛生営業経営改善貸付の取扱について」 (株)日本政策金融公庫神戸支店国民生活事業 融資第一課長 安田康一 「確定申告のきほん～青色申告での申告や消費税のしくみまで」 佐藤会計事務所 税理士 下阪琢真 「衛生法規について」 兵庫県健康福祉部健康局生活衛生課環境衛生班 主幹 犬伏孝代

- ③ 生活衛生同業組合職員との連絡会議を開催した。〔定款第4条5号、6号〕

年月日	開 催 場 所	出席人員	内 容
5. 9. 14	兵庫県中央労働センター (神戸市中央区)	17人	指導センター事業について

④ 生活衛生関係営業の経営改善等にかかる連絡会議を開催した。〔定款第4条1号、4号〕

年月日	開催地	出席人員	業 種	内 容
5. 7. 10	丹波篠山市	43人	理容・美容	「理容師法・美容師法、消毒について」 丹波健康福祉事務所食品薬務衛生課 目黒英敏 「認知症サポーター養成講座」 丹波篠山市キャラバン・メイト連絡会 丹波市健康福祉部介護保険課
5. 9. 4	小 野 市	79人	理容・美容	「SNS, ICT を活用した売上増加策」 ADU株式会社 宇田名保美 「インボイス制度」 佐藤会計事務所 三宅真介 「理・美容所における衛生対策、衛生法規について」 加東健康福祉事務所食品薬務衛生課 荒木理志
5. 9. 4	姫 路 市	23人	理 容	「理容所での衛生管理について」 姫路市保健所 北村以津子 「全理連 2023 ニューヘアとフェードカット実習」 全理連中央講師 田中泰平
5. 9. 4	南あわじ市	32人	理 容	「理容所の衛生管理について」 洲本健康福祉事務所 相川未沙
5. 9. 11	加 古 川 市	21人	理容・美容	「メンズモデルトレンドヘアとミセスノショートスタイル」 兵庫県美容組合講師みはら美容室藤原台店長 三原八須雄 「理容業・美容業における衛生対策・衛生法規について」 加古川健康福祉事務所食品薬務衛生課長 山田わかば
5. 10. 23	明 石 市	37人	理容・美容	「手話で話してみませんか～入門編～」 明石市障害福祉課 原文子、涌井由賀子 「理容業・美容業における消毒方法、法令改正について」 あかし保健所 三浦未来
5. 10. 30	西 宮 市	15人	美 容	「美容業における消毒方法、法改正、危害防止、出張美容について」 西宮市保健所生活環境課 麓 彩花
5. 11. 6	神戸市 中央区	58人	理 容	「理容業における新型コロナウイルス感染症対について」 神戸市東部衛生監視事務所 沖原達也 「認知症サポーター養成講座」 特別養護老人ホーム山手さくら苑 新谷和之
5. 11. 27	神戸市 長田区	75人	理 容	「理容業の衛生について」 神戸市西部衛生監視事務所 松山千尋 「認知症サポーター養成講座」 特別養護老人ホーム山手さくら苑 新谷和之
5. 12. 4	西 宮 市	35人	理 容	「理容業における器具・手指の消毒、法改正、危害防止、出張理容について」 西宮市保健所生活環境課 麓 彩花 「確定申告についての留意事項」 西宮税務署 上村代表統括官
6. 3. 25	尼 崎 市	18人	理容・美容 クリーニング	「いつまでも心も体も健康に（介護予防・重度化防止フレイル対策）」 尼崎市役所包括支援担当 保健師 桑原 陣 「生活衛生について」 尼崎市保健担当局保健部生活衛生課 宮永衛生監視員

⑤ 「融資のご案内」を作成し、生活衛生貸付について利用者に周知した。〔定款第4条1号、5号〕

一般貸付 2, 0 0 0 枚 公庫融資 6, 5 0 0 枚

⑥ 相談支援連絡協議会事業等関係機関との連絡会議を開催した。〔定款第4条、5号、6号〕

年月日	出席人員	内 容	備 考
5. 10. 12	38人	日本政策金融公庫神戸支店国民生活事業 融資第二課長 多田武志	専門知識を有する者を講師とする研修会 (経営特別相談員研修会と併せて開催)
6. 1. 24	13人	生活衛生貸付の推進・情報交換	

4. 情報化整備事業〔定款第4条1号、5号〕【公1・他1】

生衛業情報化整備事業実施要領に基づき、全国センターと都道府県指導センターをネットワーク化し、適切かつ効率的な経営相談、指導等業務に活用した。

生衛業情報ネットワークシステムの維持管理を行うとともに、ホームページを常に見直して情報を適宜更新して新たな情報を生衛業者、消費者に提供した。

更新回数 19回 指導センターホームページへのアクセス件数 7, 164件

5. 後継者育成支援事業〔定款第4条1号、4号、6号〕【公1】

(1) 後継者育成打合せ会議開催

年月日	開催場所	出席人員	内 容
5. 5. 31	兵庫県中央労働センター (神戸市中央区)	6人	令和4年度後継者育成支援事業実施報告 令和5年度後継者育成支援事業の検討（実施要領） その他

(2) インターンシップ事業の実施

① 理美容師インターンシップ事業

年月日	開催場所	出席人員	内 容
5. 8. 8	神戸理容美容専門学校 (神戸市兵庫区)	44人	講師：富田 一茂（美容師）他3名の美容師 ステージ上でモデル（2人×2セット）に講師の美容師がカット、ヘアメイクを施術する様子を、参加者はステージを取り巻き見学した。モデルはショー形式で出来栄を参加者に披露した。富田講師からは、美容業界のこと及び自店での美容師達の働き方や賃金等の待遇面に関する事、美容業界の将来に関する事等が語られた。その後、参加者は一人ずつウィッグを使い、カットやセットについて体験学習を行った。
5. 8. 28	神戸理容美容専門学校 (神戸市兵庫区)	30人	岡本 絵夢（理容師）他1名の理容師 講師は共に女性理容師で、ステージ上でモデルにカットとシェービングを行い、参加者はステージを取り巻き、施術を見学した。講師は流行の髪型等を解説し、モデルはステージの上で出来栄を参加者に披露した。岡本講師からは、理容業界における女性の進出についての話、自店における女性理容師の賃金や待遇等について語られた。その後、参加者は風船を使った模擬剃毛や指関節のマッサージ施術について体験学習を行った。
5. 8. 9	姫路理容美容専門学校 (姫路市)	21人	講師：下村 尚（同校臨時講師・美容師）他、同校卒業生20名 同校臨時講師及び卒業生による本格的なヘアメイクショーを行い、参加者は華麗なショーを堪能した。 下村講師ら講師陣、在校生から同校の思い出や充実した教育体制について語られた。 その後、参加者は興味のあるコースに分かれて体験学習を行った。
5. 11. 8	県立神出学園 (神戸市西区)	4人	講師：後藤 恵子（姫路理容美容専門学校教頭・美容師） 後藤教頭より、理容師、美容師の免許取得方法、業務内容、体験学習の概要についての説明が行われた。次に、カットをするときのハサミや櫛の取扱い方、カットの手技の説明とデモンストレーションを受けたあと、ウィッグを使ったカットやセットについての体験学習が行われた。 全員積極的に実技に取組み、充実した体験学習が行われ、理容師、美容師への興味を深めることができた。

② 魅力の蕎麦打ち技術の体験

年月日	開催場所	出席人員	内 容
5. 12. 13	県立有馬高等学校 (三田市)	34人 生徒 (人と自然科)	講師：箱崎 孝治理事長、井上 二郎、片野 光詞、 山下 則子、山本 博文 箱崎理事長が蕎麦打ちのデモンストレーションを見せながら、調理技術、衛生教育、蕎麦についての講義を行った。 続いて、8班（4～5名／班）に分かれて、各講師の指導の下、本格的な蕎麦打ち技術及び衛生手技等を実技体験したあと、自分たちが打った蕎麦を試食した。
5. 12. 18	県立但馬農業高等学校 (養父市八鹿町)	34人 生徒 (みのりと食科)	講師：箱崎 孝治理事長、井上 二郎、片野 光詞、三宅 裕 箱崎理事長が蕎麦打ちのデモンストレーションを見せながら、調理技術、衛生教育、蕎麦についての講義を行った。 続いて、8班（4～5名／班）に分かれて、各講師の指導の下、本格的な蕎麦打ち技術及び衛生手技等を実技体験したあと、自分たちが打った蕎麦を試食した。

6. 健康・福祉対策推進事業〔定款第4条4号〕【公1】

(1) 感染症対策事業

《感染症拡大防止チラシの周知と消毒薬の配布》

新型コロナウイルス感染症は5類へと移行したが、今後も起こりうる新興感染症の発生や食中毒事故等の予防・対策として、新規営業者に対し、基本である手指洗浄の徹底についてチラシを用いて周知を行い、かつ消毒薬を配布することにより、営業施設の衛生水準の確保・向上を図った。

① 配布時期 令和5年4月～令和6年3月

② 配布数 150個

(2) HACCP研修会の開催

年月日	開催場所	出席人員	内 容
5. 10. 31	姫路市市民会館 (姫路市)	7人	「最近の食中毒対策」 講師 兵庫県生活衛生課 食品安全官 天野 和幸 「飲食店におけるHACCPの考え方を取り入れた衛生管理」 講師 (株)ティーズフードコンサルタント 代表取締役 高柳 竜雄

例年、神戸市開催としてきたが、今回は県西部の施設を対象として、姫路市での開催となった。

7. 消費者コールセンター事業〔定款第4条1号、4号、5号〕【公1】

(1) 消費者コールセンター事業検討会議

年月日	開催場所	出席人員	内 容
6. 2. 21	兵庫県中央労働センター (神戸市中央区)	20人	苦情状況の現状として、各行政機関、生活衛生営業指導センター、各生活衛生同業組合への苦情及び県立消費生活総合センターへの苦情等について情報交換を行った。 外食（飲食店）での負傷・健康被害について行政に相談される苦情が最も多い。従事者対応での技術・技能が悪いところでは、美容・理容・クリーニングといった技術関係の苦情になっている。

(2) 地域別消費者相談会

年月日	開催場所	出席人員	内 容
5. 5. 13	西脇市市民交流施設オリナス オリナスホール (西脇市)	9 9 人	「食品に関する一般的な知識（食の安心・安全、輸入食品、見分け方等）」 (一社) 食品微生物科学協会会長 武政 二郎
5. 5. 24	赤穂市民会館 (赤穂市)	6 3 人	「食品に関する一般的な知識（食品ロスの減少をメインテーマとして）」 (一社) 食品微生物科学協会会長 武政 二郎
5. 10. 20	伊丹市立文化会館 東リ いたみホール (伊丹市)	2 7 人	「食品添加物に関する一般的な知識」 (一社) 食品微生物科学協会会長 武政 二郎

8. 分野調整等協議会等事業〔定款第4条1号〕【他2】

分野調整事業協議会設置要領に基づき零細企業である生活衛生関係営業の健全な発展を図り、進出大企業との紛争等を的確に把握し、当事者間の自主的調整の促進等を円滑に実施するため協議会を設置し、分野調整全般にわたって調査検討を要する場合に協議会を開催する。

なお、現在検討課題がないため中止し、問題が発生した場合に再開することとしている。

9. 兵庫県受託事業〔定款第4条1号、5号〕【公1】

兵庫県知事から委託を受け、(株)日本政策金融公庫生活衛生融資の一般貸付に係る推せん事務を実施した。

推せん件数 9 1 件

(飲食店営業 47 件、喫茶店営業 1 件、食肉 2 件、理容業 5 件、美容業 31 件、旅館ホテル 3 件、公衆浴場業 2 件)

10. 標準営業約款登録事業〔定款第4条3号〕【公2】

(1) 標準営業約款登録の促進

利用者の選択の利便性を高めるため、標準営業約款登録を促進した。

業 種	区 分	登 録 件 数			期末登録件数
		8 月 1 日	2 月 1 日	合 計	
クリーニング業	クリーニング(新)	一件	一件	一件	7 0 件
	〃 (再)	1 0 件	一件	1 0 件	
	取次所(新)	一件	一件	一件	2 件
	〃 (再)	一件	一件	一件	
理 容 業	(新)	一件	一件	一件	4 6 7 件
	(再)	3 件	2 件	5 件	
美 容 業	(新)	1 件	一件	1 件	2 1 1 件
	(再)	1 件	一件	1 件	
めん類飲食店営業	(新)	一件	1 件	1 件	2 件
	(再)	1 件	一件	1 件	
一般飲食店営業	(新)	一件	一件	一件	1 1 件
	(再)	一件	一件	一件	
審査委員会	開催日	5. 7. 10	6. 1. 10	—	—
	出席人員	3 人	3 人	—	—

(2) 約款PR事業

名 称 等	発行部数等	時 期	備 考
メモ帳	1, 500冊	10月	(全国センターより助成あり)

11. クリーニング師研修等受託事業〔定款第4条1号、4号〕【公3】

兵庫県知事より指定を受けた(公財)全国生活衛生営業指導センターと委託契約を締結し、クリーニング師研修並びにクリーニング業務従事者講習事業を実施した。

(1) クリーニング師研修

年月日	開 催 場 所	出席人員	備 考
5. 7. 2	宝塚市立男女共同参画センター・エル (宝塚市)	14人	
5. 7. 7	たつの市青少年館 (たつの市)	28人	
5. 7. 13	伊丹市立文化会館〔東りいたみホール〕 (伊丹市)	26人	
5. 7. 25	やしろ国際学習塾 (加東市)	27人	
5. 8. 10	洲本市文化体育館 (洲本市)	16人	
5. 11. 5	兵庫県中央労働センター (神戸市中央区)	40人	
合計	6回開催	151人	

(2) クリーニング業務従事者講習

年月日	開 催 場 所	出席人員	備 考
5. 8. 1	宝塚市立男女共同参画センター・エル (宝塚市)	25人	
5. 8. 22	やしろ国際学習塾 (加東市)	20人	
5. 8. 31	たつの市青少年館 (たつの市)	21人	
5. 9. 8	洲本市文化体育館 (洲本市)	29人	
5. 9. 28	伊丹市立文化会館〔東りいたみホール〕 (伊丹市)	26人	
5. 11. 14	兵庫県中央労働センター (神戸市中央区)	79人	
合計	6回開催	200人	

(3) 第2型クリーニング業務従事者講習

年月日	講 習 方 法	出席人員	備 考
6. 1. 22	通 信 制	4人	
合計	1回開催	4人	

(4) 打合せ会開催

年月日	開 催 場 所	出席人員	内 容
5. 5. 9	兵庫県中央労働センター (神戸市中央区)	14人	・今年度開催計画の概要 ・4年度までの受講状況 ・研修・従事者講習の受講指導の徹底について

*全国センター主催のクリーニング師研修等受講促進会議に参加した。(ZOOM:令和5年4月18日)

12. 生活衛生営業振興事業〔定款第4条1号、2号、4号、5号、6号、7号〕【公4】【他3】

公益財団法人として不特定多数の者の利益の増進に寄与することを目的として定めた「生活衛生営業衛生水準向上・活性化事業実施要綱」に基づき、公衆衛生の向上を目的とした事業、地域社会の健

全な発展を目的とした事業、一般消費者の利益の擁護又は増進を目的とした公益事業等を組合と共同又は単独事業として実施した。

(1) 共同事業

年月日	開催場所	出席人員	内 容
5. 4～6. 3			【全料飲】 目的 兵庫県で組織する7の飲食業関係の組合が食を通じて地域社会の公衆衛生の向上を図ることにより、一般消費者の安心できるくらしの実現に寄与した。 [旅館ホテル生活衛生同業組合] 内容 旅館業の一層の活性化を図るべく、コロナ禍以降の社会情勢に対応する研修を行う。具体的には、コロナ禍における財務状況の悪化における金融及び財務対策の研修と最低賃金 UP による、労務管理についての勉強会を開催する。 この事業により、旅館ホテルの企業体質の強化を図り、業界の発展の一助とする。
(6. 2. 29)	ホテル クレール日笠 (姫路市)	参加施設 10施設	(2/29) 【労務管理研修】 「旅館ホテルのための労務管理講座～最低賃金UP対策」 講師 白井信雄先生（社会保険労務士）
(6. 3. 6)	旅館うめ丸 (南あわじ市)	参加施設 10施設	(3/6) 【財務金融研修】 「旅館ホテルのための財務研修～金融対策～」 講師 川口屋リバーサイドホテル 垣谷社長 竹取亭円山 下浦社長 小宿縁 田岡社長
(6. 2. 27)	兵庫県立神出学園 (神戸市西区)	48人 (学園生・職員)	[鮭商生活衛生同業組合] 内容 日本の食文化の一つとしての「鮭」を、兵庫県立神出学園に出向き、すし作り体験を実施した。この教室では、学園生に板前鮭職人等によるにぎり寿司の実演指導を行った。時代を担う若者に食に対する興味や関心を深め、また、板前鮭職人とのふれあいを通じ、各地域に根ざす寿司店が親しく身近なものとなるように働きかけ、さらに安全な公衆衛生向上をめざした。 「板前鮭職人による握り寿司の実演、試食」 講師 貝塚一夫、山中勉、大本佳克、増田健輔、石原清和、奥谷康弘、山口昭二、岡本博幸、岡本剛志 講師補助 三木喜代江
(6. 3. 22)	赤穂市立野外活動センター (赤穂市)	来場者50人	[社交飲食業生活衛生同業組合] 内容 一般の人々にお酒の中身、種類や製法する技術の紹介と簡素な食材を使つての「酒の料理」や「おつまみ」など専門家の実演、試食、試飲を参加者に振舞った。露店関係に対する設備関係が厳しくなり、飲酒及び喫煙に関しても場所の規制が入り、加えて衛生管理及び防火対策も備えなければ許可がおりなくなり色々大変だった。 業界精通講師 木村義久（日本バーテンダー協会関西本部長 SAVOYKITANOZAKA経営）

年月日	開催場所	出席人員	内 容
(5. 11. 27)	丹波市木の根会館 (丹波市)	15人 組合側6人	[麺類食堂業生活衛生同業組合] 内容 手打ちそば特別講習会 第15回目となる手打ちそば特別講習会は、県内二か所で開催した。 第一回目は、一般消費者が体験教室に参加し、本格的な手打ちそばを体験した。感想を聞いたところ、初めてのそば打ち体験でしたが、こんなにも美味しいそばは、初めてでしたと、評判は上々であった。 講師 箱崎孝治・岩本正彦・井上二郎・山下則子
(6. 1. 23)	デイサービスいっぷく (神戸市北区)	19人 組合側5人	第二回目はデイサービスでのそば打ち振る舞いを10年ぶりに開催した。日頃、体験できない事で、皆様感激して頂いた。 講師 箱崎孝治・金 園恵
(5. 11. 17)	日本料理 波勢 (神戸市中央区)	20人	改めて、衛生水準の維持向上に努めなければならない責務を痛感する。このことが業界の発展にも繋がる意義ある事業であった。また、機会あるごとに組合員をはじめ広く関係者に伝達し、さらなる消費者サービスの向上に努めたい。 [料理業生活衛生同業組合] 内容 専門の講師に神戸牛について講義いただき、和食材と神戸牛の融合の提案、それに見合う器等の紹介、料理長に依る技術披露講習会「神戸牛の現状と今後の可能性について」の講義を実施し、今後日本料理を継続させるべく後継者の意識向上、技術向上に繋げると共に一般消費者の興味、関心も高める。 講師 新田 滋 (旭屋 店主)
(5. 11. 19)	西脇市市民交流施設オリナス駐車場 (西脇市)	200人 試食 200食	[飲食業生活衛生同業組合] 内容 西脇市の地域食材である「黒田庄和牛」を使ったハンバーグ「黒田庄和牛『極』ハンバーグ」が、西脇多可料飲組合の監修により西脇市の新たなご当地グルメとして令和4年9月に誕生した。その「黒田庄和牛『極』ハンバーグ」をテーマに令和4年11月～12月レシピを募集し、令和5年2月18日に開催された「西脇レシピコンテスト」で、応募数71作品から最優秀賞に選ばれた作品である「酒粕ホワイトソースハンバーグ」を組合員店舗協力のもとに再現して、一般市民の方に試食してもらう機会を設け、レシピコンテスト受賞作品のお披露目及び地域食材の活用についての啓発、そして次回レシピコンテストの開催についての周知を行った。 最優秀賞「藤原亜衣理」さん 講師 西脇ロイヤルホテル 料理長 青山 哲
(6. 2. 28)	大陸風 (神戸市中央区)	20人 一般消費者 見学10人 試食30人	[中華料理業生活衛生同業組合] 内容 一般消費者を対象にして中華料理の専門家が家庭で出来る中華料理を指導して、実演・試食会を行って消費者に新たな中華料理を紹介する他、講習会を併せ実施し、中華料理の薬膳、医食同源な

年月日	開催場所	出席人員	内 容
			どの中華料理の文化、歴史、衛生確保などの食育を推進して消費者利益の擁護と公衆衛生の向上に寄与した。 講師 了 利（大陸風料理長） 助手 王 瑞欣・葉 少青・鮑 耀豊
6. 1. 9 ～3. 26			【理容】 公衆衛生の向上、地域社会の健全な発展、一般消費者の利益の擁護又は増進を図るため、兵庫県理容生活衛生同業組合 4 1 支部の各地域で理容業を営む営業者並びに若手技術者を対象として、各部門研修会を開催し、衛生消毒の普及啓発を行うとともに技術の向上のための研修会を実施した。 内容 理容師法に基づく理容業は、人の身体の一部である毛髪及び皮膚に接して施術を行うサービス業であり、利用者だけでなく、従事者の安全のためにも、正しい衛生消毒知識と、万全な消毒体制での営業が求められていることから、理容組合では、若手技術者を中心に各部門別研修会を開催して、兵庫県下 4 1 支部から受講者を募集し、技術の向上を図るとともに、理容業の衛生水準の維持向上を学んでいただき、衛生消毒の徹底指導を実施した。 講師 周 成榮、山崎 桂、小林義和、松原智哉、田中泰平、下地宏和、吉田隆昭 講師 周 成榮、西関 誠、下地宏和、上垣裕一、松原智哉、吉田隆昭、河村靖志
(6. 3. 11)	姫路理容美容専門学校（姫路市）	1 8 名	
(6. 3. 25)	神戸理容美容専門学校（神戸市兵庫区）	1 3 名	
5. 4～6. 3			【クリーニング】 クリーニング営業者並びに一般消費者を対象として、クリーニング事故を未然に防ぐには何が必要か、衣類の洗濯表示基準が改正されたことに伴う知識等、消費者が安心して利用できるよう、クリーニング学校を開催して情報を提供した。 *「電子帳簿保存法」で押さえておくべき「ポイント」について講習会開催 「電子帳簿保存法」が令和 6 年 1 月 1 日より開始となり、電子データで受領した請求書や領収を電子データ保存するには、要件を満たす必要がある。そこで、多くの事業者が困っていること、問い合わせの多かった事例を紹介しながら、絶対に押さえておくべきポイントを解説した。 講師 SWALLOW JAPAN 荻田員成 *新加工『羽毛アンチエイジ PLUS+』によるダウンジャケットの加工実演・発表研修会 使用していると年々失われる羽毛のダウンパワーを、Nano タンパクを使ったこれまでにない新しい薬剤で回復させることができる新技術『羽毛アンチエイジ PLUS+』令和 6 年 3 月以降に予定されているダウンジャケット用加工の一般販売に向けて、今回加工実演及び発表研修会を行った。 講師 ラクナ油脂株式会社 奥野英樹
(5. 11. 12)	スペースアルファ三宮（神戸市中央区）	1 3 人	
(6. 1. 23)	白星社クリーニング(株)（神戸市灘区）	2 5 人	

年月日	開催場所	出席人員	内 容
(6. 3. 16)	(株)ホームドライ (神戸市須磨区)	38人	※ § 小さい店の幸せな生き残り方 アパレル販売員経験で培った接客スキルを活かし、お客様との接点を重視することに焦点を当て、設備投資やスタッフ増員などは行わずに売り上げを伸ばした方法を発表した。 講師 クリーニングあさの 麻野和美 § 事業継承の考え方、社内改革の方法 クリーニング店を引き継ぐに至った経緯や、自社の分析・社内改革の流れを紹介。 また、参加者にも自社の強みや弱みなどを考えてもらう体験型の講座を行った。 講師 クリーニングたまがわ 橋本 緑
5. 4～6. 2			【美容業】 美容業の営業衛生水準の向上・活性化事業を不特定多数の者の利益の増進を目的として、高度な技術や知識・情報を有する専門講師を招聘して、県下の美容業者を対象にした講習会を実施し、衛生水準や美容技術の向上と普及を図ることによって、一般消費者の利益の擁護並びに増進と地域社会の健全な発展に寄与した。 内容 ※組合員及び組合未加入者を対象とし、美容所の衛生水準の維持・向上を計るため保健所職員を講師に迎え、衛生講習会を開催した。通常的美容所としての衛生管理に加え、新型コロナウイルスに対する消毒法や注意点の指導も受けた。各会場とも、衛生講習会の後に税務署員からインボイス制度の説明も受けた。 講師 福井明子（姫路市保健所衛生課） 賀前増美（姫路税務署審理専門官） (5. 9. 25) 姫路じばさんビル（姫路市） 20人 (5. 10. 30) 兵庫区文化センター（神戸市兵庫区） 49人 (5. 12. 4) 宝塚商工会議所（宝塚市） 37人 (5. 6. 19) 神戸市産業振興センター（神戸市中央区） 50人 (5. 11. 27) 神戸理容美容専門学校（神戸市兵庫区） 80人 ※カット・カラーテクニックの展示講習 講師 水谷吉伸 ※成人式など実生活に役立つヘアと着付の展示講習会とパーソナルカラー講習を開催した。 講師（ヘア）中馬由美子、岡村珠美 （着付）深瀬恭子、林由美子、森本芳華、坂部めぐみ（パーソナルカラー）岡村珠美
4. 6. ～5. 3.			【旅館ホテル】 ようやくコロナ前の日常を取り戻しつつある中「おもてなし」の研修を予定していたが、インバウンドが増加傾向にありながら大阪・京都に比べて弱い兵庫県として、インバウンド誘客のための「おもてなし」について、専門家を講師に招いて研修会を開催した。 内容 旅館ホテルにおける「インバウンド向けのおもてなし」の実践講座 特別データ駆使したプロジェクターによる講義特別資料配布 講師 富山佳子（インバウンドファクトリー代表）
(5. 3. 6)	ほてる ISAGO 神戸 (神戸市中央区)	15人 (13施設)	

年月日	開催場所	出席人員	内 容
5. 4～6. 3 (5. 10. 13)	兵庫県民会館 (神戸市中央区)	2 4 人	【公衆浴場業】 阪神大震災から 2 8 年を過ぎようとしているが、その後も各地での災害が多く発生していることを考え、東日本大震災や新しいデータなどもふまえて、今後に備え開催した。予想されている「南海トラフ大地震」に対して、私達事業者も、地域社会とともに、防災・減災等への備えを再度認識することが大切であり、とくに地域社会に深い関わりがある公衆浴場業において、備え、寄与していくように、防災・減災の視点から、まず自らを含めて講習会をし、意識啓発等に取り組んだ。 内容 「地域の中から、生活衛生事業者として～南海トラフ地震に向けての構えと備え～」 講師 室崎益輝 (神戸大学名誉教授・兵庫県立大学名誉教授)
5. 4～6. 2 (6. 2. 27)	兵庫県立神出学園 (神戸市西区)	4 8 人 (学園生・職員)	【鮭商】 日本の食文化の一つとして、鮭は広く人々に愛され、今日様々な形態で提供されていますが、今回、板前鮭職人等によるにぎり寿司の実演指導を行った。それを実践したことにより、家族や友人と共に調理し、会話も増え、様々なアイデア・工夫も生まれ、有意義な時を過ごせた。より一層楽しく心豊かな食卓を演出する一助になる事を願った。また、板前鮭職人より魚介類ににぎりを提供するにあたり、食材が地産地消によるものであり、地域社会と深く関わり発展につながっている事も示した。板前鮭職人とのふれあいを通じ、各地域に根ざす寿司店が親しく身近なものとなるように働きかけ、さらに安全な公衆衛生向上をめざした。 内容 「板前鮭職人による握り寿司の実演、試食」 講師 貝塚一夫、山中勉、大本佳克、増田健輔、石原清和、奥谷康弘、山口昭二、岡本博幸、岡本剛志 講師補助 三木喜代江
5. 11～12 (5. 12. 14)	播州赤穂駅構内 (赤穂市)	5 0 ～ 6 0 人	【社交飲食業】 一般消費者を対象にして、公衆衛生の向上を図るため簡素な食材を使って、専門家であるバーテンダーや調理人による実践実技を交えての飲食店営業(社交飲食)の衛生水準の向上と地域社会の健全な発展に寄与した。 内容 赤穂市最大のイベント赤穂義士祭に参加、従来でしたら屋外での出店方式であったが昨年同様屋外での飲食禁止の為空き店舗を探していたところ赤穂駅構内のうどん屋が二年前に廃業しているとの事で赤穂市と赤穂駅にお願いして使用する運びとなった。しかしながら駅構内という事で人手は市外や他県の方がほとんどで電車の発着時間以外は少し寂しかったように思えたが調理人及びバーテンダーによる全ての酒の提供、作り方の指導、簡単に出来るお酒のおつまみ、男の料理などを振舞った。 講師 木村 義久 (日本バーテンダー協会関西本部長 SAVOYKITANOZAKA 経営) 湯川 覚 (日本料理料亭 いずも亭経営)

年月日	開催場所	出席人員	内 容
5. 4. 1 ～6. 3. 25			【麺類食堂業】 最も安全安心な食品としてのおそばの魅力を広く県民にアピールするために啓蒙用リーフレットを作成して普及啓発を行った。また、「そばは元気な健康食」と言われるとおり、一般消費者対象に【手打ちそば講習会】を実施し、地域社会の健全な発展と消費者サービスの向上に寄与した。 内容 * 安全安心なお蕎麦（詳細解説）の啓蒙用ポスター（200枚）、リーフレット（2,000枚）を作成し、県内市町、観光協会、各組合員店舗に掲示。 * 手打ちそば講習会 「そばは元気な健康食」と言われるとおり、一般消費者対象に【手打ちそば講習会】を実施し、地域社会の健全な発展と消費者サービスの向上に寄与した。 講師 箱崎孝治・井上二郎・池藤嘉信 他に組合員3名
(5. 4. 1～ 6. 2. 28)	県内市町、観光協会、各組合員店舗	25人	
(5. 11. 22)	宍粟市防災センター (宍粟市)		
5. 7. 3 ～6. 1. 22			【食肉】 一般消費者(青少年を含む。)を対象に、食肉の衛生と安全に関する講習会を実施して、食肉衛生知識の普及促進を図り、公衆衛生の向上に寄与した。また、家畜の生産から食肉の処理加工、消費に至る生産・流通等の講習、食育の推進並びに地産地消の重要性を啓発して、地域社会の健全な発展に寄与することを目的として実施した。 内容 *お肉の調理実習・試食 講師の先生から、お肉を使った調理の実技を受講するとともに、淡路島の豊かな食材や料理について説明を受けた。また、出来上がった料理を試食し、テーブルマナーについての講習を受けた。 講師 井壺幸徳（リゾレッタオーナーシェフ） *「食肉の衛生管理安全・安心の取組み」 「お肉が食卓に届くまで」のDVDを見た後に、食肉の衛生管理と流通過程でお肉が安全に管理され食卓まで届くのか、またトレーサビリティ法による管理方法などスライドを使用して講義を聞き学習した。講師 春奈麻衣（兵庫県食肉衛生検査センター淡路食肉衛生検査所） *「淡路ビーフについて学ぼう」 淡路ビーフについて『たじま牛』の多くがここ淡路島で生まれ、神戸ビーフ、松阪牛や近江牛等の素牛となることなど、スライドを交えながら講義を聞き、地域の食肉文化についての理解を深めた。講師 濱中健一（淡路ビーフブランド化推進協議会事務局） *行政・業界・調理講師・消費者との意見交換 講義を振り返り、質疑応答の中で食肉の衛生管理や公衆衛生の知識を深め、食肉の安全・安心のための普及啓発を図ることとした。 アンケート集約・・・次年度の事業計画や事業内容等に反映させることを目的としてアンケートを取りまとめた。
(5. 11. 14)	洲本市洲本中央公民館/2階調理室 (洲本市)	15人	

年月日	開催場所	出席人員	内 容
5.6 ～11.10 (5.10.25)	神戸たん熊 (神戸市中央区)	32人 組合員、地元消費者	【料理業】 昨今の食品衛生水準の向上において大きな節目となったHACCPについて、今一度その普及推進と実践を通して、専門家を招いて質疑応答を含めたセミナー。また、アフターコロナの時代におけるインバウンドへの対応・売上向上に着目したセミナーを実施した。 内容 今回事業の目的として、HACCP理解と実践の深化、そしてアフターコロナにおけるインバウンドへの対応・売上向上の2点に焦点をあて、2名の講師を招いて開催した。一般消費者の方々も多数参加して頂き、活発な意見交換も含め実り有るセミナーとなった。今後も料理業組合の活性化・営業水準向上と後継者育成を重点分野とし、広く一般消費者の健全なる食生活とその利益に貢献出来る事を念頭に置き、生活衛生事業に邁進する。 HACCP研修会「衛生管理・HACCPについて」 講師 徳王美紀 (一般社団法人改善整理コンサルタント協会代表理事) 外国人客への対応・サービス向上の研究会 「コロナ後のインバウンド対策について」 講師 鵜丹谷 剛 (㈱ハートンインターナショナル代表取締役)
5.5～8 (5.5.30)	神戸メリケンパークオリエンタルホテル (神戸市中央区)	74人	【飲食業】 「食の安全・安心」を担う飲食業界の組合員が、最近の原材料費、光熱費等の高騰で厳しい経営状況の打開策等について、POPマーケティングコンサルタントの研修を受け、地域社会の健全な発展を図ることを目的とした。チラシ作成部数 200部 内容 テーマ「いい人が集まる求人看板とキャッチコピーの作り方&伝え方」 講師 伊坂光恵 (POP未来図代表)
5.11～6.3 (6.2.26)	民生 (神戸市中央区)	実演11人 見学10人 試食21人	【中華料理業】 一般消費者を対象にして中華料理の専門家が家庭で出来る中華料理を指導して、実演・試食会を行って消費者に新たな中華料理を紹介する他、講習会を併せ実施し、中華料理の薬膳、医食同源などの中華料理の文化、歴史、衛生確保などの食育を推進して消費者利益の擁護と公衆衛生の向上に寄与した。 内容 実演・試食 (ダイレクトメール:郵送、FAX、Eメール等で発信) 講師 安達正一・助手 葉 少青
(6.3.7)	群愛飯店本店 (神戸市中央区)	実演15人 見学13人 試食30人	講師 施 蓮華・助手 坂田一城

(2) 企画運営委員会の開催

生活衛生営業振興事業を適正かつ円滑に推進するために、「企画運営委員会」を設置し、事業計画の企画運営にかかる審査及び助言することにより、生活衛生営業の振興を図った。

年月日	開催場所	出席人員	会議内容
5. 5. 22	兵庫県中央労働センター (神戸市中央区)	14人	令和4年度生活衛生営業振興事業の報告
6. 2. 7	兵庫県中央労働センター (神戸市中央区)	12人	令和6年度生活衛生営業振興事業の計画

13. 全国生活衛生営業指導センター受託事業〔定款第4条1号、5号〕

(公財)全国生活衛生営業指導センターの委託を受けて次の事業を実施した。

(1) 景気動向等調査【他4】

生衛業界の景気動向、設備投資動向等を定期的に把握するとともに、生衛業者の景況感や地域実情等を定性的な把握に努め、日本公庫の今後の業務運営に資した。

	理	ク	美	旅	浴	興	鮭	社	麺	肉	喫	料	飲	鳥	中	氷	計
1回目	5	7	7	2	6	1	7	4	6	4	2	2	8	2	3	1	67
2回目	5	7	7	1	6	0	7	4	7	3	2	2	8	2	4	1	66
3回目	5	7	6	2	6	1	7	4	7	3	3	1	8	2	4	1	67
4回目	5	7	6	1	6	1	6	4	6	3	2	2	8	3	3	1	64
合計	20	28	26	6	24	3	27	16	26	13	9	7	32	9	14	4	264

(2) 経営状況調査【他4】

生衛業の経営状況を把握するため訪問調査等を実施した。調査結果は(公財)全国生活衛生営業指導センターにおいて今後の経営指導方針に活用され、また情報を公開した。

	理	ク	美	旅	浴	興	鮭	社	麺	肉	喫	料	飲	鳥	中	計
1回目	6	7	6	3	5	1	8	4	7	4	2	2	8	1	3	67
2回目	6	6	5	3	5	1	8	4	7	3	2	2	8	1	4	65
3回目	6	7	5	3	5	1	8	4	6	3	3	1	8	1	4	65
4回目	6	7	5	3	5	1	7	4	6	3	2	2	8	2	3	64
合計	24	27	21	12	20	4	31	16	26	13	9	7	32	5	14	261

1回目については、併せて特別調査を実施した。

(3) 生衛業受動喫煙防止対策事業【法】

「健康増進法の一部を改正する法律」の趣旨に鑑み、生活衛生関係営業者がその事業場において実施する望まない受動喫煙の防止を図るうえで講ずるべき措置を支援するための生衛業者への受動喫煙防止対策を推進した。

(4) 生衛業デジタル化推進・支援体制開発・効果検証事業【公1】

生活衛生関係営業のデジタル化推進及び地域デジタル相談員の資質向上に向けた研修等の実施及び効果検証等事業において研修会や実店舗研修の実施に協力した。

① 地域デジタル相談員研修会

生衛業者がデジタル化を進めるために必要な知識やノウハウの修得をサポートをするため、業種に応じたデジタル化推進に向けた研修を受講した。

受講者 経営指導員 3名 令和5年8月～10月

eラーニングによる研修 延べ30本受講

② 実店舗研修協力先の選定

営業者 灘温泉水道筋店(神戸市灘区) 西本恵里奈

③ 指導・実地検証

指導 (令和5年9月25日・10月16日・11月20日・12月26日
・令和6年1月26日)

アドバイザー ADU株式会社 代表取締役 宇田名保美

検証 (令和6年1月26日)

④ デジタル化推進・支援体制開発・効果検証事業成果発表会

(ベルサール八重洲:令和6年3月8日)

14. 全国生活衛生営業指導センター事業協力 (全国センター経費負担)

(1) 経営特別相談員指導事業〔定款第4条1号、4号〕【公1】

経営特別相談員の経営指導上に必要な知識の充実と資質の向上を図るため次の研修会を開催した。

年月日	開催場所	出席人員	内容
5.10.12	兵庫県中央労働センター (神戸市中央区)	38人	「特相員の活動と、衛経貸付の活用等について」 指導センター経営指導員 古川隆三 「生活衛生貸付の現状と衛経推薦上の留意点」 日本政策金融公庫神戸支店国民生活事業 融資第二課長 多田武志 「収益力向上のポイント (Instagramや動画のSNS、ICTを活用した売上増加策)」 ADU株式会社 代表取締役 宇田名保美 「インボイス制度について」 税理士法人佐藤会計事務所 税理士 下阪琢真 「生産性向上ガイドライン・マニュアルの活用方法について」 指導センター経営指導員 柴折浩幸

(2) 衛生水準の確保・向上事業〔定款第4条1号、5号〕【他3】

① 衛生水準の確保・向上推進会議

年月日	開催場所	出席人員	内 容
5. 8. 17	兵庫県中央労働センター (神戸市中央区)	24人	第1回会議 ・推進会議開催の趣旨について ・令和5年度行動計画について ・公庫融資の状況等
6. 2. 15	兵庫県中央労働センター (神戸市中央区)	25人	第2回会議 ・令和5年度事業報告 ・生活衛生関係営業施設に関する報告 ・生活衛生同業組合に関するアンケート調査 ・公庫融資の状況等

② 広報・啓発事業 令和5年9月～令和6年2月

- * 全国センター作成の「一般啓発チラシ」及び「生衛組合加入勧奨チラシ」等を、各生衛組合、各行政機関及び公庫等に配布し、各機関において広報、啓発活動を行った。
- * 名簿を作成し、県下の令和4年度新規開業店舗に対し、上記の資料等を活用し、組合加入勧奨のダイレクトメールを実施した。4, 153件
- * 県指導センターホームページを活用した広報活動を実施した。

③ 新規営業許可届出施設等の情報の入手 令和5年5月～9月

- * 令和4年度分の新規営業許可業者名簿(50, 000件)を入手し、業種別の4, 164件に整理した。
- * 同名簿を組合加入勧奨の基礎資料として、県下の生衛組合に情報提供した

④ 生衛組合活性化塾の開催

生衛業の振興、後継者確保、生衛組合の活性化及び人材育成を図るため、若手・後継者等を対象に生衛組合活性化塾を開催した

年月日	開催場所	出席人員	内 容
6. 2. 28	兵庫県中央労働センター (神戸市中央区)	15人	・指導センターと生衛組合の活動 ・日本政策金融公庫の融資 ・生衛業のデジタル化推進について ・参加者による意見交換及びアンケート

⑤ 衛生水準の確保・向上事業担当者会議への出席

開催日	令和5年6月14日	ZOOM会議
開催日	令和5年6月21日	ZOOM会議
開催日	令和5年6月28日	ZOOM会議
開催日	令和5年7月5日	場所 全国生衛会館（東京都港区）

(3) 生衛業収益力向上セミナー〔定款第4条4号〕【公1】

年月日	開催地	出席人員	業 種	内 容
5. 9. 4	小野市	79人	理容・美容	「SNS, ICT を活用した売上増加策」 ADU株式会社 宇田名保美 「インボイス制度」 佐藤会計事務所 三宅真介 「理・美容所における衛生対策、衛生法規について」 加東健康福祉事務所食品薬務衛生課 荒木理志

(4) 生活衛生関係営業経営支援緊急対策事業〔定款第4条1号、5号、6号〕【公1】

生衛業者からの幅広い相談等にワンストップで対応する伴走型の支援を行う専門相談窓口の開設等や情報提供及び支援ニーズの把握等を通じ、事業継続や経営再建に取り組む生衛業者及び生衛業界を早期に再生軌道に導く緊急支援を実施した。

期間 令和5年4月～12月

相談・指導対応件数 73件

チラシ作成配布 8,000枚

経営支援緊急対策事業担当者意見交換会（令和6年3月18日 ZOOM会議）